

## マルチコントロール オーディオマスター

---

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## WX-5000MDX



**警告**

# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたると、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指狭み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

⚠ 警告・⚠ 注意 .....	4
MDの取り扱い .....	6
CDの取り扱い .....	7
はじめに .....	8
まず、本機をリセットする .....	9
CD/MD・ラジオの聞きかた .....	10
各部のなまえ .....	12
カードリモコン(別売り)の操作 .....	14
ロータリーコマンド(別売り)の操作 ...	16
メニュー画面について .....	18
時計を合わせる .....	19

## CD・MD

CD/MDを聞く .....	20
繰り返し聞く(リピート再生) .....	23
曲順を変えて聞く (シャッフル再生) .....	24
ディスクに名前をつける(ディスク メモ/カスタムファイル) .....	25
ディスクを名前で探す(リスト) .....	27
CD TEXTを見る .....	28

## ラジオ

放送局を自動で登録する .....	29
特定の放送局を登録する .....	33
放送局に名前をつける (ステーションメモ) .....	34
放送局を名前で探す(リスト) .....	36

## テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る .....	37
別売りのビデオを見る .....	39
映像を見ながらディスクを聞く (サイマルプレイ) .....	40

## サウンドの設定

DSOを設定する .....	41
イコライザーを使う(EQ) .....	42
音のバランスや音質を設定する (バランス) (ソースサウンドメモリー) .....	44
リスニングポジションを設定する (POS) .....	45
スピーカーの出力を設定する .....	47
サブウーファアの出力を設定する ...	49

## その他の操作

スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA) .....	51
音や表示などの設定を変える .....	52
使用上のご注意 .....	54
故障かな? .....	56
保証書とアフターサービス .....	59
主な仕様 .....	59
索引 .....	61



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する  
本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

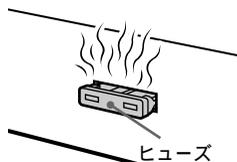


**内部に水や異物を落とさない**  
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

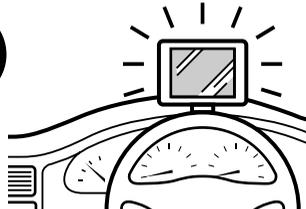


**規定容量のヒューズを使う**

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



**前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない**  
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



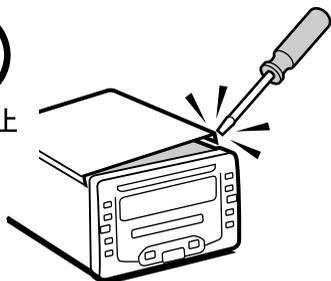
**分解や改造をしない**

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

### ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



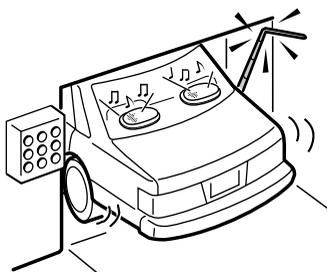
---

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときは電源をOFFにする

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



禁止



## MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れないシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合、すぐに閉めてください。



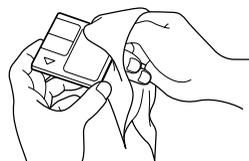
### 保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を開け切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



### お手入れ

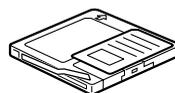
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



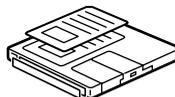
### ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



## CDの取り扱い

### CDについて

CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



記録面に触れないように持つ。



禁止

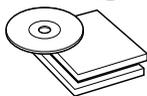


ディスクに紙などを貼らない。  
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



禁止



- 再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので使用しないでください。

こんなディスクは使わないでください  
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

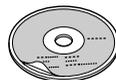
- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。



- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。



- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。



- 本機ではCD(円形ディスク)のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

### CD-Rについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R(レコーダブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したCD-RレコーダーやCD-Rディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-Rディスクは再生できません。
- CD-RW(リライタブル)ディスクは再生できません。

---

# はじめに

- 本機1台でCD/MD、ラジオの3メディアに対応。
- 広がりのある音場を創造する新機能DSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能付きHX-DSP搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドEQ(イコライザー)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

また、以下に記載した別売りの機器も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー、MDチェンジャー
- テレビ、ビデオ

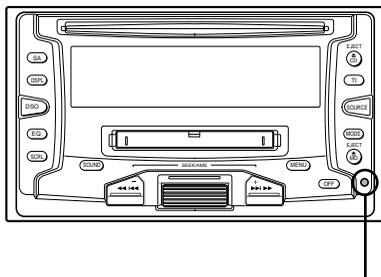
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャーやテレビ、ビデオ、ロータリーコマンダーを接続した場合や、カードリモコンの操作方法についても説明しています。

# まず、本機を リセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

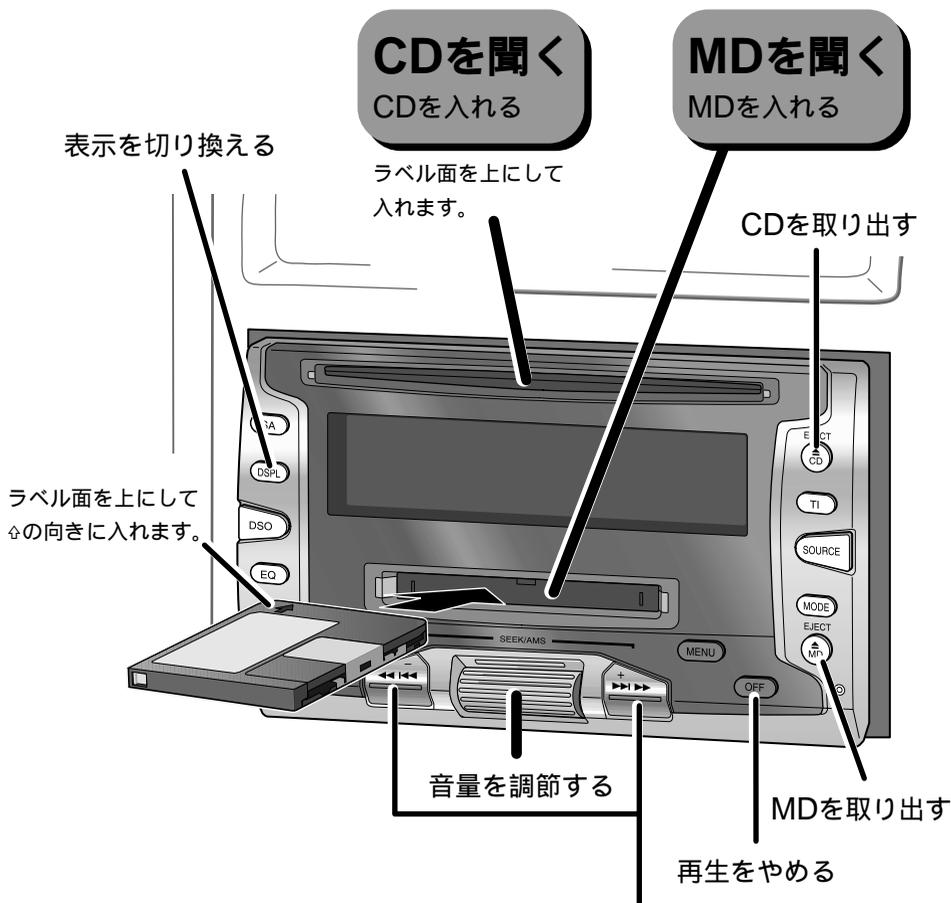
## ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録・設定した内容が消えるものがあります。その場合は、登録・設定し直してください。
- リセットボタンを押してから10秒間はCDおよびMDを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。
- テレビのリセットボタンを押したときは、必ず本機のリセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、モーションディスプレイをOFFにしてください。(52、53ページ)



リセットボタン

# CD/MD・ラジオの聞きかた



ディスクが入っているとき点灯します。

△ : MD    ○ : CD

ディスクが入っているときは

**SOURCE** ボタンを押して「CD」または「MD」を選ぶと再生が始まります。

本機は8cmCDがそのまま再生できます。

8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると誤動作することがありますので使用しないでください。

## 曲の頭出し

再生中にSEEK/AMSボタンを押して離す。

▶▶▶▶ : 次の曲へ進む

◀◀◀◀ : 曲の頭や前の曲へ戻す  
戻したい曲の数だけ押します。

## 聞きながら探す(サーチ)

再生中にSEEK/AMSボタンを押し続ける。

▶▶▶▶ : 先に進める

◀◀◀◀ : 前に戻る

指を離すと、そこから再生されます。

## ラジオを 聞く

自動選局で受信する  
押して離します。

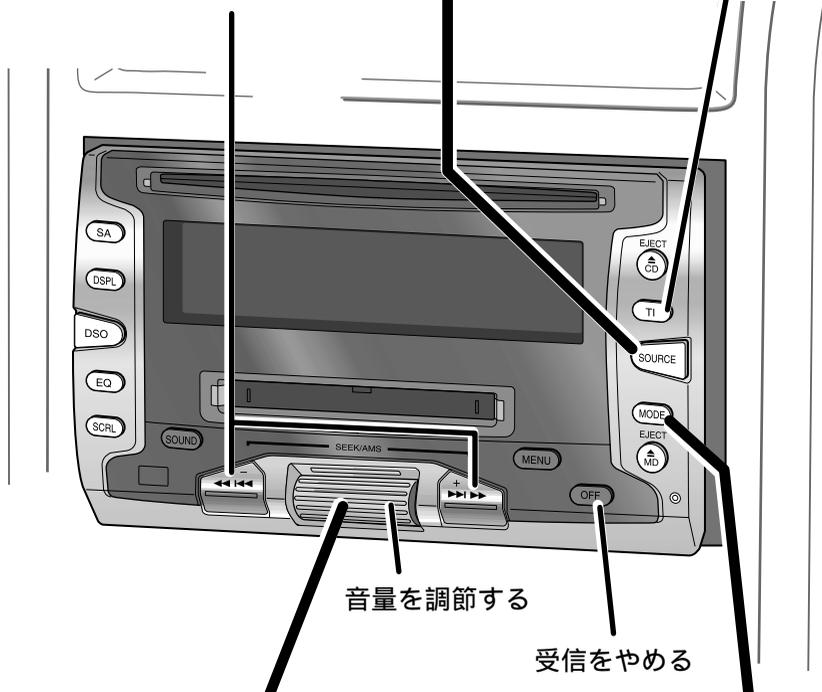
自動的に受信すると止まります。

▶▶▶▶ : 高い周波数へ

◀◀◀◀ : 低い周波数へ

### 1 ラジオ受信に する

交通情報を聞く



### 3 聞きたい 放送局を選ぶ

- ① 押してリスト表示にする
- ② 回して聴きたい放送局を選ぶ

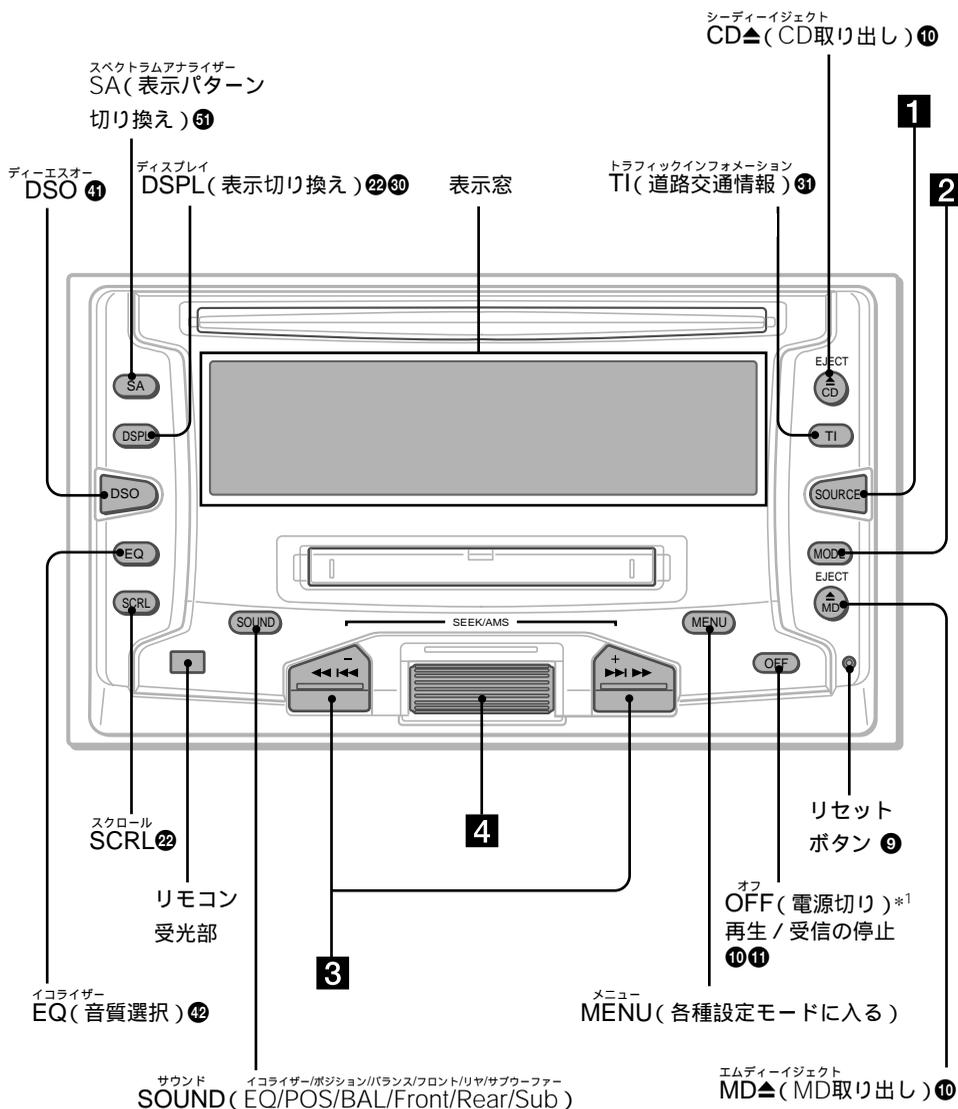
放送局の登録についてくわしくは29  
~30、33ページをご覧ください。

### 2 聞きたい バンドを選ぶ

押すごとにFM ↔ AMと  
切り換わります。

# 各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



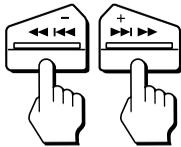
\*1 ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

**1** ソース (ラジオ/CD/MD/TV・Video  
切り替え) 20 29 33 37 39 40

**2** モード  
MODE

ラジオ	FM/AM切り換え
エムディー MD	MD再生、MDチェンジャー 選択*4
シーディー CD	CD再生、CDチェンジャー 選択*4
テレビ TV*4	TV/Video切り換え

**3** シーク/エーエムエス (頭出し/ラジオ選局/EQ/  
ポジション/バランス/フロント/リア/サブウーファー  
POS/BAL/Front/Rear/Subの調整 /  
設定選択)

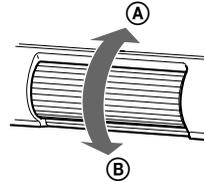


ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)
CD/MD	前の曲へ 早戻し (押し続ける)	次の曲へ 早送り (押し続ける)
イコライザー プリセット設定	前へ	次へ
リスニング ポジション	前へ	次へ
バランス	左へ	右へ
フロント	低く	高く
リア	低く	高く
サブウーファー の出力設定	小さく	大きく

**4** ジョグローラー (VOL/EQ/Clockの調整  
/リスト表示/メニュー項目選択)

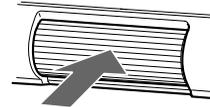
18 19 21 23 24 25 26 27 28 29 30 33 34 35 36  
37 38 40 43 48 50 53

回すと



	(A)	(B)
音量調節	大きく	小さく
時刻の設定	進む	戻る
イコライザー のレベル調整	大きく	小さく

押すと



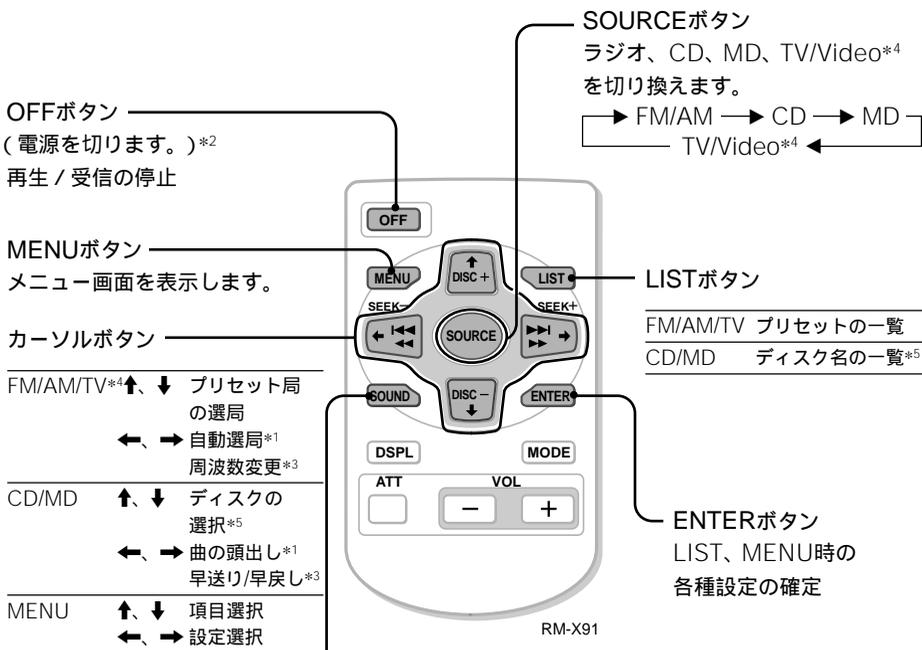
ラジオ	放送局に名前をつける*2/ 一覧を見る
MD	一覧を見る
CD	名前をつける*2, 3/一覧を見る
テレビ*4	放送局に名前をつける*2/ 一覧を見る

\*2 2秒以上押したとき  
\*3 カスタムファイル対応のCDチェンジャーが接続されている場合  
\*4 別売りの機器が接続されている場合

# カードリモコン(別売り)の操作

本機のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



**SOUNDボタン**

サウンドの設定をします。

押すごとに

EQ → POS → BAL →

Front → Rear → Sub

と切り換わります。

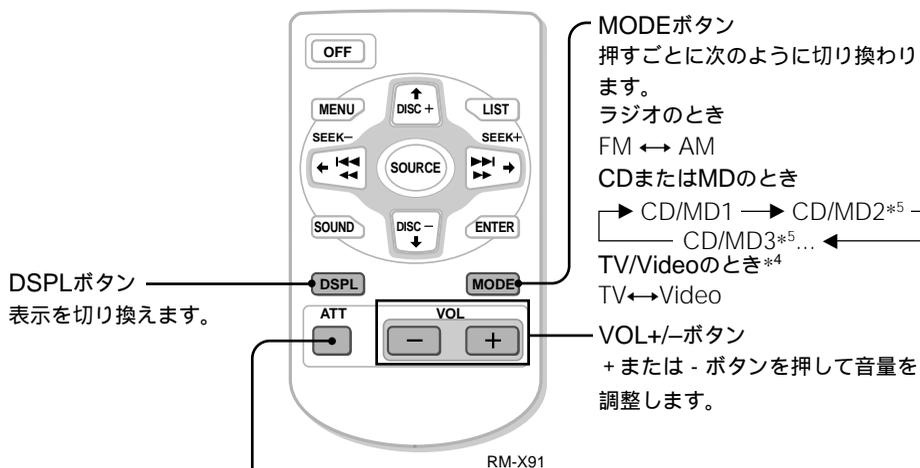
\*1 短く押す

\*2 2秒以上押す

\*3 0.5秒以上押す

\*4 TVチューナーユニット(別売り)が接続されている場合

\*5 CD/MDチェンジャー(別売り)が接続されている場合



RM-X91

\*4 TVチューナーユニット(別売り)が接続されている場合

\*5 CD/MDチェンジャー(別売り)が接続されている場合

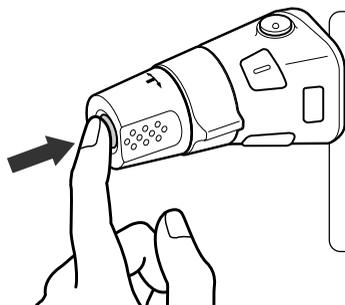
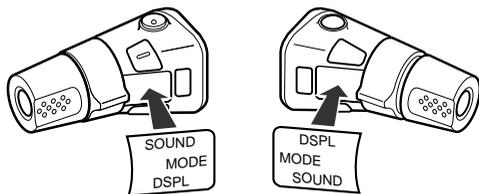
ご注意

本体またはカードリモコンのOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本体を操作できません。操作できるようにするためには、まず本体のSOURCEボタンを押すか、ディスクを挿入して本機の電源を入れてください。

# ロータリーコマンドー(別売り)の操作

## ロータリーコマンドーのシールについて

本機には別売りのロータリーコマンドー (RM-X4S) を接続してお使いになれます。ロータリーコマンドーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールをお使いください。また、ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせてシールを貼ってください。

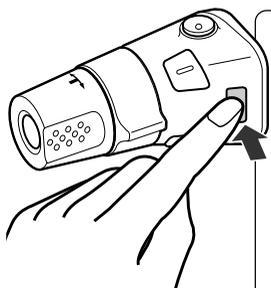


ソース

### SOURCEボタンを押すと

選ばれていたソースが選択され、繰り返し押し続けるとソースがラジオ (FM/AM) CD MD TV/Video\* ラジオ (FM/AM) と切り換わります。

\* 別売りのTVチューナーユニットが接続されている場合のみ表示します。



モード

### MODEボタンを押すと

ラジオの時 : FM ↔ AM

CDの時 : CD1 → CD2\*1 → . . .

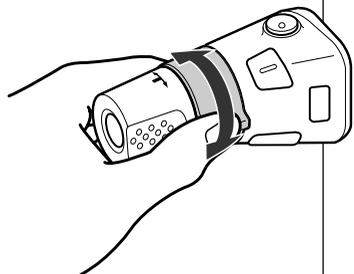
MDの時 : MD1 → MD2\*1 → . . .

テレビの時\*2 : TV ↔ Video

と切り換わります。

\*1 別売りのCD/MDチェンジャーが接続されている場合のみ表示します。

\*2 別売りのTVチューナーユニットが接続されている場合のみ表示します。



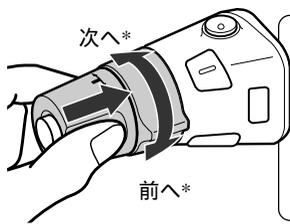
シーク/エー・エム・エス

### SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

FM/AM/TV\*... 自動的に放送局を受信する  
回し続けると特定の周波数に合わせられます

CD/MD... 曲の頭出しをする  
回し続けると早送り / 早戻しになり、離すと再生に戻ります

\* 別売りのTVチューナーユニットが接続されている場合のみ表示します。

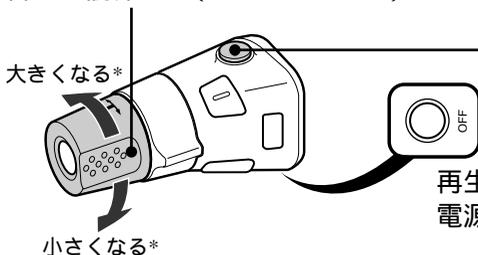


ボリウム  
**VOLつまみを押しながら回すと**  
 FM/AM/TV\*<sup>1</sup>... 登録した放送局を順に受信する  
 CD/MD... ディスクを切り換える\*<sup>2</sup>

\*<sup>1</sup> 別売りのTVチューナーユニットが接続されている場合のみ  
 \*<sup>2</sup> 別売りのCD/MDチェンジャーが接続されている場合のみ

\* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

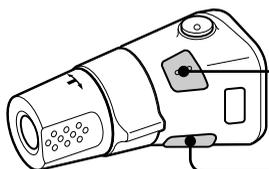
音量を調節する (VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)  
 解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

再生 / 受信の停止 (OFFボタンを押す)  
 電源を切る (OFFボタンを2秒以上押す)

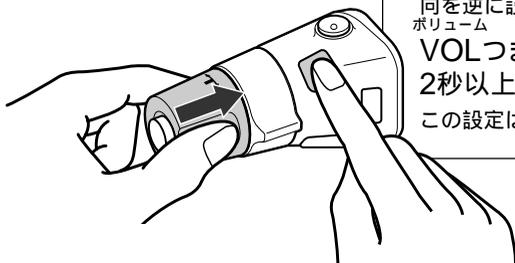
\* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。



音質選択する (SOUNDボタンを押す)  
 本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

表示を切り換える (DSPLボタンを押す)  
 本体のDSPLボタンを押したときと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える



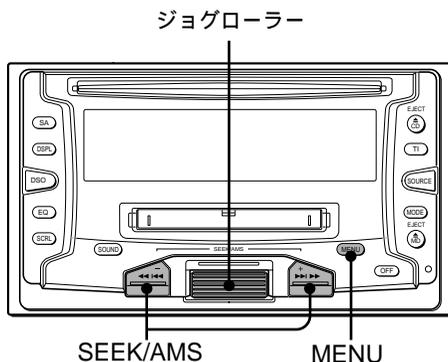
運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

ボリウム  
 VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す

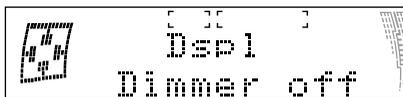
この設定は、本体でもできます (52-53ページ)

# メニュー画面について

MENUボタンを押すと次のようなメニューが表示されます。



## メニュー画面 (MENUボタンを押して表示)



ちょっと一言

- 別売りのカードリモコンの↑/↓(DISC/PRST)ボタンを2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリー\*がスキップします。

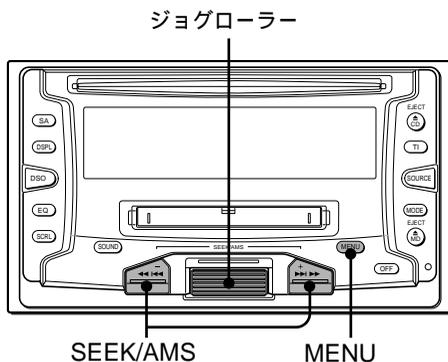
- \* Set up: 一般設定  
Dsp1: 表示の設定  
P.Mode: 再生 / 受信の設定  
Sound: 音質 / 音響の設定  
Edit: 表示文字の設定

- 別売りのカードリモコンで操作をしているときは、もう1度MENUボタンを押して通常再生画面に戻します。  
本体で操作をしているときは、操作なしで5秒後に戻ります。

- MENUボタンを押すと各種設定や調節を行う画面になります。
- ジョグローラーおよびSEEK/AMSボタンで設定項目と設定内容を選び、ジョグローラーを押して決定します。
- ジョグローラーを押すと、メニュー画面を解除して通常画面に戻ります。

# 時計を合わせる

本機は12時間表示です。



## ちょっと一言

Motion off時、D.Info機能をONに設定すると常時時計が表示されます(52ページ)。

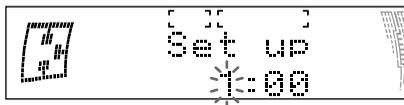
## ご注意

ACCポジションのないお車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ジョグローラーを回して「Clock」を選ぶ。



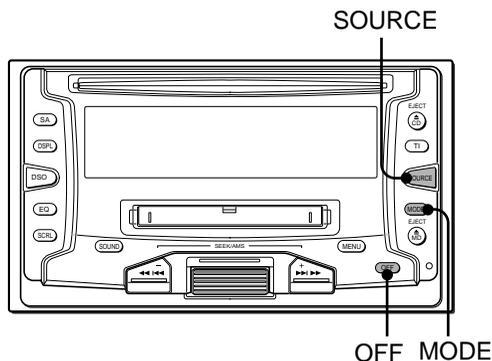
- 3 ジョグローラーを押す。



- 1 ジョグローラーを回して「時」を合わせます。
- 2 SEEK/AMSボタンの+を押して「分」の位置に移動し、ジョグローラーを回して「分」を合わせます。  
ジョグローラーを下に回すと数値が戻り、ジョグローラーを上に戻すと数値が進みます。
- 4 設定後、ジョグローラーを押す。  
設定時刻が登録され、通常画面に戻ります。

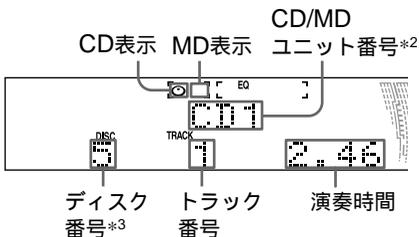
# CD/MDを聞く

本機または別売りのCD/MDチェンジャーを使って、CDやMDを再生できます。



## 聞きたいソースを選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し続けて、「CD」または「MD」を選ぶ。



\*1 別売りのTVチューナーが接続されている場合のみ表示します。

\*2 別売りのCD/MDチェンジャーが接続されている場合のみユニット番号の数字を表示します。

\*3 別売りのCD/MDチェンジャー内のディスクを再生中のみ表示します。

- 2 MODEボタンを繰り返し押し続けて、CDまたはMDチェンジャーを選ぶ。

別売りのCDチェンジャーを接続した場合  
 CD1(本機)→CD2(CDチェンジャー1)→  
 CD3(CDチェンジャー2)→...→CD1→

別売りのMDチェンジャーを接続した場合  
 MD1(本機)→MD2(MDチェンジャー1)→  
 MD3(MDチェンジャー2)→...→MD1→

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

## ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。
- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出る場合があります。
  - 「No Disc」: ディスクが入っていない。
  - 「\*\*\*\*\*」:
    - 名前をつけていない。
    - CD TEXT対応のチェンジャーでCD TEXTでないCDを再生したとき。
  - 「?」: ディスク情報を読み込んでいない。

## 聞きたいディスクを選ぶには

- 1 ジョグローラーを押してリスト表示にする。
- 2 ジョグローラーを回して聞きたいディスクを選ぶ。
- 3 ジョグローラーを押す。  
選んだディスクの1曲目から再生が始まります。

ディスク名の登録方法については、「ディスクに名前を付ける」(25ページ)をご覧ください。

## 聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押し。

押した回数だけ次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところするには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離します。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「.....」または「.....」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

## CD/MDを聞く(つづき)

### CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。アーティスト名はディスク名のあとに自動的に表示されます。またアーティスト名の記録されていないディスクもあります。

### ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- 曲名のオートスクロールは、DSPLボタンを押して曲名表示をしているときだけです。
- ディスク名のオートスクロールは、DSPLボタンを押してディスク名表示をしているときだけです。

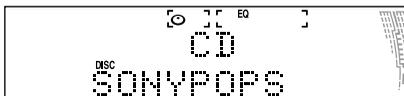
### ちょっと一言

- Motion1 または2にしている場合(52、53ページ)は、DSPLボタンを押して表示を切り換えた約10秒後に、すべての表示を表示するモーションディスプレイモードに自動的になります。
- ディスク名/曲名がついている場合、名前を表示します。
- 本機ではMDやCD TEXTに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたMDを再生した場合は「NO D.Name」または「NO T.Name」と表示されます。
- 「オートスクロールの設定」(28ページ)で「A. Scro on」にしておくと、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。

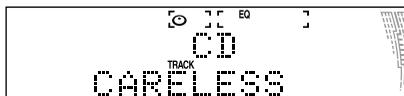
### 表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押しして表示を切り換えます。

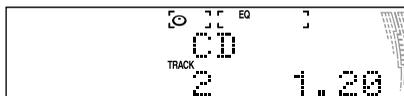
### CD TEXT対応ディスクの再生の場合



ディスク名/  
アーティスト名\*1\*2



曲名\*3 (MDと  
CD TEXTのみ)



曲番号と  
再生経過時間

\*1 ディスク名がついていない時は「NO D.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

\*2 CD TEXTにディスクメモ機能(25ページ)で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。

\*3 曲名がついていないときは「NO T.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

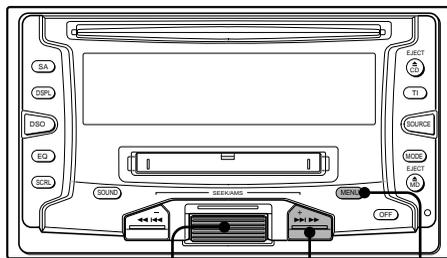
### 長い名前(13文字以上)を見るには

CD TEXTまたはMDの再生中に、SCRLボタンを押します。

# 繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



ジョグローラー SEEK/AMS MENU

- 1 CDまたはMDを再生する。
- 2 MENUボタンを押し、ジョグローラーを回して「Repeat」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+を繰り返し押し、聞きたい設定を選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります



- 1曲のみ繰り返し ..... 「Repeat 1」にする。
- 再生中のディスクを繰り返し\* ... 「Repeat 2」にする。

リピート演奏が始まります。

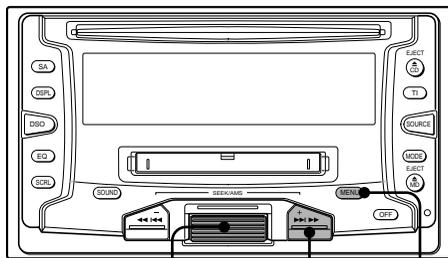
\* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには  
手順3で「Repeat off」を選びます。

# 曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



ジョグローラー SEEK/AMS MENU

## ご注意

「Shuffle 2」と「Shuffle all」では、すべての曲を再生し終える前に、同じ曲が再生されることがあります。

- 1 CDまたはMDを再生する。
- 2 MENUボタンを押し、ジョグローラーを回して「Shuffle」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+を繰り返し押し、聞きたい設定を選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



\* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

• 再生中のディスク内の全曲を順不同に再生するには  
..... 「Shuffle 1」にする。

別売りのCD/MDチェンジャーを接続した場合

• 再生しているチェンジャー内のディスクを順不同に再生するには ..... 「Shuffle 2」にする。

• 本機とチェンジャー内のディスクをまたがって順不同に再生するには

— 本機のCDとCDチェンジャー

— 本機のMDとMDチェンジャー

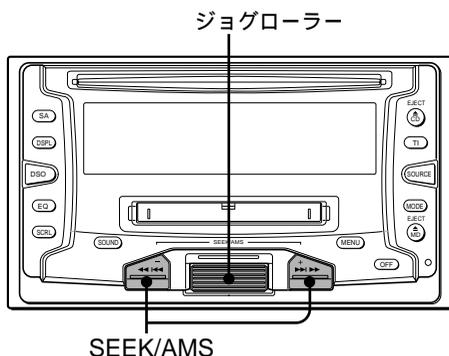
..... 「Shuffle all」にする。

シャッフル再生をやめるには  
手順3で「Shuf off」を選びます。

# ディスクに名前をつける

(ディスクメモ / カスタムファイル)

別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけることができ、再生中に表示できます。CD110枚分の名前を保存できます。



ちょっと一言

- CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台接続していれば、対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけられます。
- 文字をあげたいときは、「↑」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときはSEEK/AMSボタンの-を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- メニューのName Editから操作することもできます。

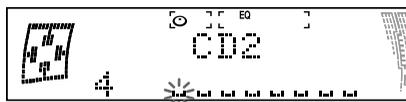
ご注意

ディスクメモを入力中は自動的にディスクリブートになります。その間、シャッフル再生やRepeat1再生は保留されます。

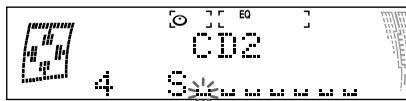
ちょっと一言

「\*Wait\*」: データの読み込みが終了するまで表示されます。

## 1 CDを再生中にジョグローラーを2秒以上押す。



## 2 ジョグローラーを回して入力する文字を選び、SEEK/AMSボタンの+を押して次の文字に移動させる。



ジョグローラーを上に戻すと

A → B → C → ... Z → 0 → 1 → 2 → ... 9 → + → - → \* → / → \ → → → → →

と変わります。ジョグローラーを下に戻すと、逆順に表示されます。

スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+を押します。

## 3 手順2を繰り返して、名前を入力し終わったらジョグローラーを押す。

通常の画面が表示されます。

## ディスクに名前をつける(つづき)

### ご注意

- 手順4では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が登録された順に表示されます。最後に入力した名前が最後に表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャー内のCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャー内のCDを再生してください。

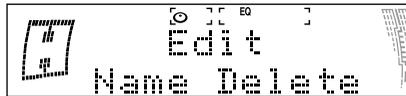
### ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」(25ページ)の手順2で、すべての文字に「    」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

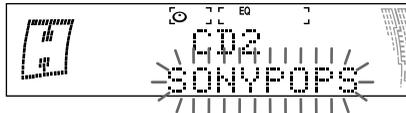
## 名前を消去するには

**1** CDの再生中にMENUボタンを押す。

**2** ジョグローラーを回して「Name Delete」を表示させる。



**3** ジョグローラーを押す。



**4** ジョグローラーを回して消去するディスクの名前を選ぶ。

**5** ジョグローラーを2秒以上押す。

選択したディスクの名前が消去されます。

ほかのディスクの名前を消すときは手順4、5を繰り返します。

**6** 最後にMENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

# ディスクを名前 で探す(リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスク  
を選ぶことができます。

- 名前の記録されているMDを別売りのMDチェンジャーで再生する場合
- 別売りのCD TEXT対応のCDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生した場合
- 別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続した場合

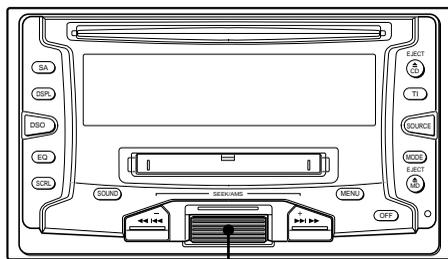
CDについてはディスクメモ機能(25ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

## ご注意

- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。
  - 「No Disc」: ディスクが入っていない。
  - 「\*\*\*\*\*」:
    - 名前をつけていない。
    - CD TEXT対応のチェンジャーでCD TEXTでないCDを再生したとき。
  - 「?」: ディスク情報を読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。

## ちょっと一言

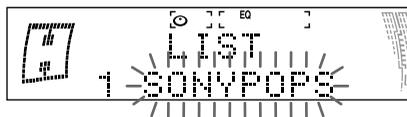
別売りのカードリモコンで操作をしているときは、もう1度LISTボタンを押して通常再生画面に戻します。本体で操作をしているときは、操作なしで5秒後に戻ります。



ジョグローラー

## 1 再生中にジョグローラーを押す。

リスト画面が表示されます。



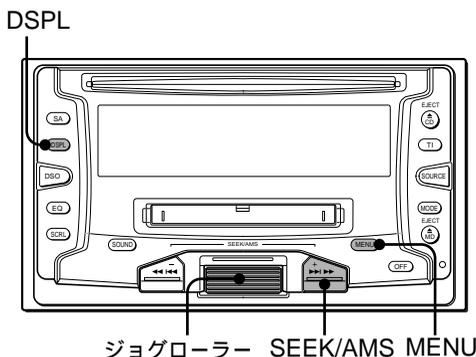
## 2 ジョグローラーを回して聞きたいディスク名を表示させる。

## 3 ジョグローラーを押す。

選んだディスクの1曲目から再生が始まります。

# CD TEXTを見る

本機またはCD TEXT対応のCDチェンジャーを接続してCD TEXT対応のディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。



## CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

## ご注意

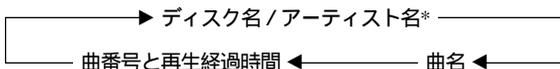
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しきれなかったりスクロールしないことがあります。
- 曲名のオートスクロールは、DSPLボタンを押して曲名表示にしているときだけです。
- ディスク名のオートスクロールは、DSPLボタンを押してディスク名表示にしているときだけです。

## ちょっと一言

ディスクメモ機能(25ページ)で名前を登録したCD TEXTディスクを再生している場合は、ディスクメモ名が表示されます。

## CD TEXT対応ディスクを再生すると

DSPLボタンを押すごとに



と切り換わります。

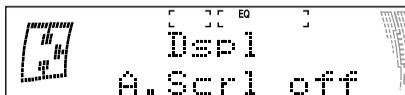
\* アーティスト名はディスク名のあとに自動的に表示されます。またアーティスト名の記録されていないディスクもあります。

## オートスクロールの設定

CD TEXT対応CDまたはMDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったとき、およびSOURCEをCDまたはMDにしたときに、この設定を「on」にしておくと13文字以上のディスク名および曲名を自動的にスクロールさせることができます。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ジョグローラーを回して「A.Scrl」を表示させる。



3 SEEK/AMSボタンの+を押して「on」を選ぶ。

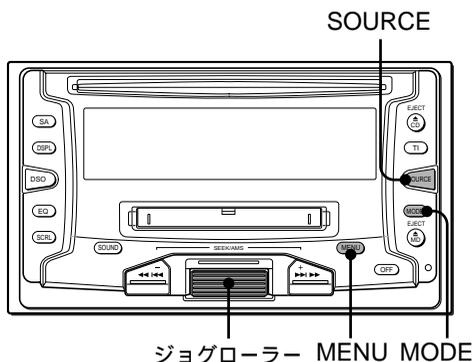
4 最後にジョグローラーを押す。

通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには  
手順3で「off」を選びます。

# 放送局を自動で登録する

受信できる放送局を自動的に登録します。FM(TV1~3チャンネル)またはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。



## ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネル放送局が登録されます。

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、ラジオ受信にする。

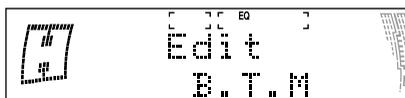


\* 別売の機器を接続したとき

- 2 MODEボタンを繰り返し押し、「FM」または「AM」を選ぶ。

- 3 MENUボタンを押す。

- 4 ジョグローラーを回して「B.T.M」を表示させる。



- 5 ジョグローラーを押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)が点滅表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の表示に戻ります。

## 放送局を自動で登録する(つづき)

### ちょっと一言

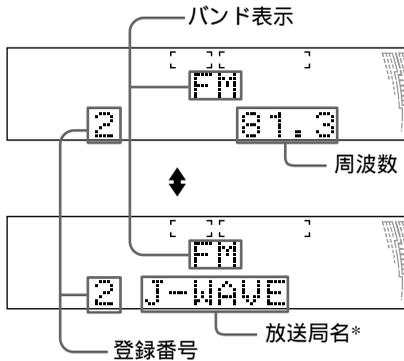
- 放送局の名前の登録のしかたについては、34ページをご覧ください。
- Motion1または2にしている場合(52ページ)、DSPLボタンを押して表示を切り換えた約10秒後に、すべての表示を表示するモーションディスプレイモードに自動的になります。

### 登録した放送局を聞くには

- 1 ジョグローラーを押して、リスト表示にする。
- 2 ジョグローラーを回して、開きたい放送局を表示させる。
- 3 ジョグローラーを押す。  
選んだ放送局を受信します。

### 表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して表示を切り換えます。



\* 名前が登録されている場合のみ表示します。

#### ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、希望の放送局の近くの周波数まできたら一度指を離し、短く一押ししていくと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- ローカル受信中は、放送局を探している間「LCL Seek」と表示されます。

#### ちょっと一言

道路交通情報（AM 1620kHzまたは1629kHz）の放送地域内で聞くことができます。

## 旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
  - 1 ラジオ受信中にMENUを押し、ジョグローラーを回して「Local」を表示させる。
  - 2 SEEK/AMSボタンの+を押して、「Local on」にする。
  - 3 ジョグローラーを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「Local off」を選びます。

## 道路交通情報を聞くには （トラフィックインフォメーション）

本体のTIボタンを押します。（パワーアンテナが自動的に上がります）

SEEK/AMSボタンを押すと、周波数（1620kHz/1629kHz）を切り換えることができます。

もとのソースに戻すには

もう一度TIボタンを押します。（パワーアンテナが自動的に下がります）

## 放送局を自動で登録する(つづき)

### ご注意

IF Autoモードを「Wide」にしても雑音が入って聞きにくい時は、IF Autoに戻して下さい。

### ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押し、ジョグローラーを回して「Mono」を表示させる。
- 2 SEEK/AMSボタンの+を押しして「Mono on」にする。
- 3 ジョグローラーを押す。

ふつうの受信に戻すには  
手順2で「Mono off」を選びます。

### FM放送局が混信するときは

受信している周波数の近くにほかの放送局があり、混信するときに設定します。通常は「Auto」にしておくと自動で切り換わります。

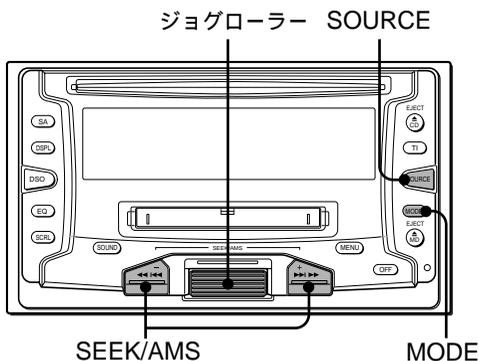
### 受信周波数を自動的に調整する (IF Autoモード)

雑音が入って放送が聞きにくくなる場合、受信帯域幅を自動的にせばめるためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもステレオで聞くことができます。  
(Wide 固定する)

- 1 FM受信中にMENUボタンを押し、ジョグローラーを回して「IF Auto」を表示させる。
- 2 SEEK/AMSボタンの+を押しして「Wide」を表示させる。
- 3 最後にジョグローラーを押す。

# 特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(29ページ)したあと、空いているプリセットチャンネルに他の放送局を追加登録できます。



## ちょっと一言

SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて希望の放送局の近くの周波数まで来たら一度指を離し、短く一押ししていくと、0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。

## ご注意

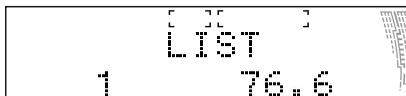
すでに登録してある番号に同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局の登録は消えてしまいます。

## ちょっと一言

「FM」および「AM」のそれぞれに10局ずつ設定できます。

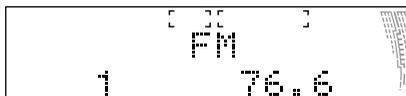
- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、ラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを押して「FM」または「AM」を選ぶ。
- 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、登録する局の周波数が表示されたところで離す。

- 4 ジョグローラーを押して、リスト表示にする。



- 5 ジョグローラーを回して、放送局を登録する番号を表示させる。

すでに登録されていた放送局が表示されます。



- 6 最後に「Memory」が表示されるまでジョグローラーを2秒以上押す。

登録された受信中の放送局の画面が表示されます。

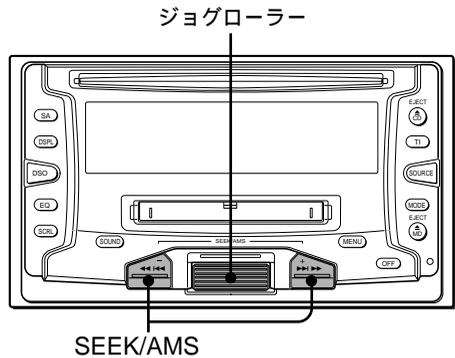
# 放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

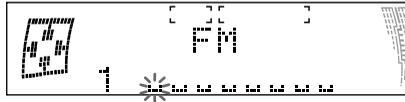
ちょっと一言

- ジョグローラーを上に戻すと  
A → B → C → ... Z →  
0 → 1 → 2 → ... 9 →  
+ → - → \* → / →  
\ → → → → →  
と変わります。ジョグローラーを下に戻すと、逆順に表示されます。
- 文字を空けたいときは、「  」(下線)を入力します。
- 文字入力を間違えたときはSEEK/AMSボタンの-を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- メニューのName Editから操作することもできます。



**1** 名前をつけたい放送局を受信する。

**2** ジョグローラーを2秒以上押す。



**3** ジョグローラーを回して入力する文字を選び、SEEK/AMSのボタンの+を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+を押します。

**4** 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらジョグローラーを押す。

通常の画面が表示されます。



## ちょっと一言

「放送局に名前をつける」  
(34ページ)の手順3で、すべての文字に「\_」(下線)を入力して名前を消すことができます。

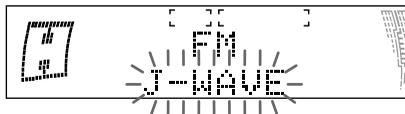
## ご注意

手順4では、メモリーに保存されているすべての放送局名が登録された順に表示されます。最後に登録された放送局名が最後に表示されます。

## 放送局の名前を消去する

- 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ジョグローラーを回して「Name Delete」を表示させる。

- 3 ジョグローラーを押す。



- 4 ジョグローラーを回して消去する放送局名を表示させる。

- 5 ジョグローラーを2秒以上押す。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順4と5を繰り返します。

- 6 最後にMENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

# 放送局を名前で見 探す

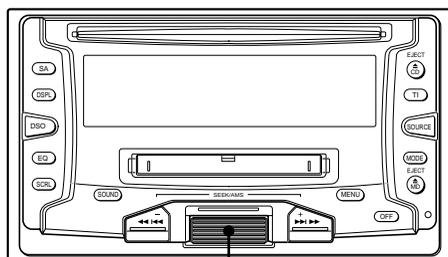
(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、34ページをご覧ください。

ちょっと一言

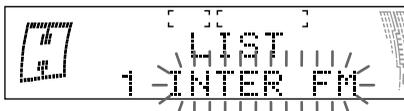
別売りのカードリモコンで操作をしているときは、もう1度LISTボタンを押して通常再生画面に戻します。

本体で操作をしているときは、操作なしで5秒後に戻ります。



ジョグローラー

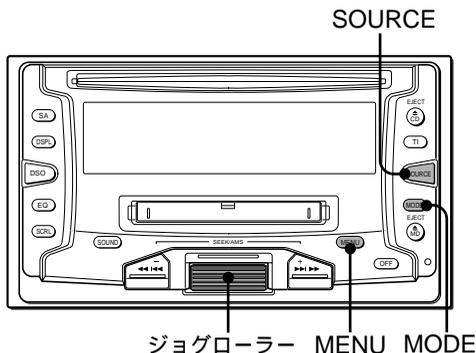
- 1 ラジオ受信中にジョグローラーを押す。  
登録されている放送局のリストが表示されます。



- 2 ジョグローラーを回して放送局名を選ぶ。
- 3 ジョグローラーを押す。  
選局が終了すると通常の画面が表示されます。

# 別売りのテレビ を見る

テレビを見るには、別売りのTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。



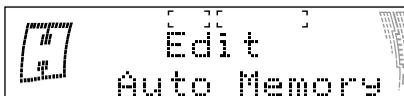
## ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 最大10局まで登録できます。

\* 表示はTVモニターの機種により異なります。

## チャンネルを登録する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、TVまたはVideoにする。
- 2 MODEボタンを繰り返し押し、「TV」にする。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ジョグローラーを回して「Auto Memory」を表示させる。



- 5 ジョグローラーを押す。

「Auto Memory」が点滅表示され、受信状態の良い放送局が周波数順に登録されます。

TVモニターには「選局中」\*など表示されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

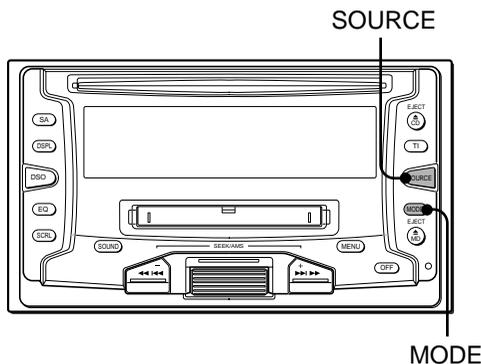
## 別売りのテレビを見る(つづき)

### 操作のしかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	ジョグローラーを押してリスト表示にする。ジョグローラーを回して希望の放送局を表示させ、ジョグローラーを押す。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(32ページ)の操作をする。
副音声を聞くには	<ol style="list-style-type: none"><li>1 TV受信中にMENUボタンを押す。</li><li>2 ジョグローラーを回して「Main」を表示させる。</li><li>3 SEEK/AMSボタンの+を押して「Sub」を選ぶ。</li><li>4 最後に、ジョグローラーを押す。</li></ol> 通常の声に戻すには手順3で「Main」を選ぶ。
特定のチャンネルを登録するには	<ol style="list-style-type: none"><li>1 SOURCEボタンを繰り返し押してTVまたはVideoにする。</li><li>2 MODEボタンを繰り返し押して「TV」にする。</li><li>3 「特定の放送局を登録する」(33ページ)の手順3~6の操作をする。</li></ol>
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(34ページ)の操作をする(手順1では、「TV」を選ぶ)。

# 別売りのビデオ を見る

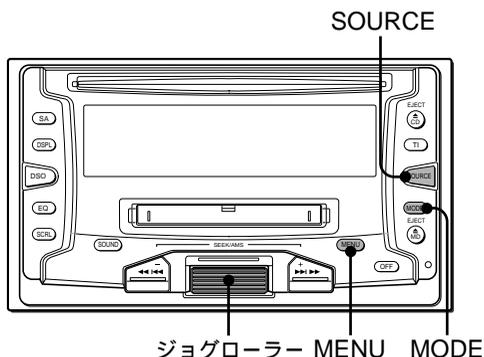
ビデオを見るには、別売りのビデオデッキ  
およびTVチューナーユニットとTVモニ  
ターを接続してください。  
接続のときには、ビデオデッキとTVモニ  
ターの取扱説明書をご覧ください。



- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、TVまたはVideoにする。
- 2 MODEボタンを繰り返し押して、「Video 1」を選ぶ。
- 3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

# 映像を見ながら ディスクを聞く

(サイマルプレイ)



## ご注意

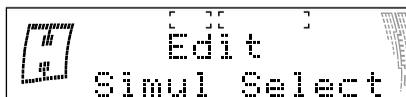
- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局の一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

## ちょっと一言

サイマルプレイ中、「Video 1」表示は「V1」となります。

1 TV受信中にMENUボタンを押す。

2 ジョグローラーを回して「Simul Select」を表示させ、ジョグローラーを押す。



3 SEEK/AMSボタンの - を押して音声を選ぶ。



4 SOURCEボタンを押して聞きたい音声(「CD」または「MD」)を選ぶ。

5 SEEK/AMSボタンの + を押して映像を選ぶ。

6 テレビまたはビデオを選ぶ。

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TV」表示にする。
- 2 ビデオにしたい場合、MODEボタンを押して、「V1」にする。

7 最後にジョグローラーを押す。

サイマルプレイが始まります。

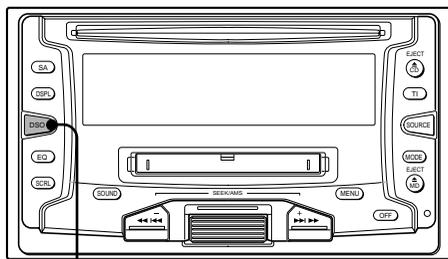
サイマルプレイをやめるには

テレビまたはビデオを止めるには 手順6の①で「 - - 」を選びます。

CDまたはMDを止めるには 手順4で「 - - 」を選びます。

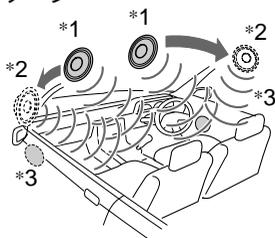
# DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。



DSO

バーチャルスピーカーのイメージ



- \*1 スタンダード
- \*2 ワイド
- \*3 実際のスピーカー(フロントドア下)

ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻りません。

## DSOを選ぶ

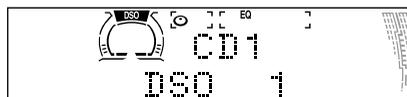
設定の種類	設定内容
DSO 1~3	バーチャルスピーカー(スタンダード)
DSO Wide	バーチャルスピーカー(ワイド)
DSO off	DSO設定解除

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 DSOボタンを繰り返し押して、DSOモードを選ぶ。

押すごとに



と切り換わります。

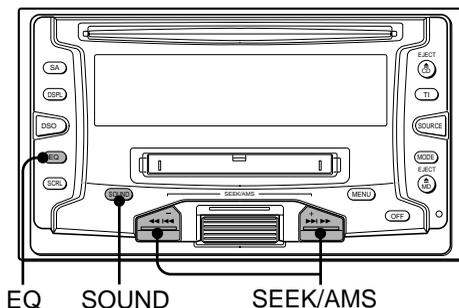


## DSOをやめるには

設定の手順2で「DSO off」を選びます。

# イコライザーを使う(EQ)

本機には音楽のジャンルに合わせた5種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。

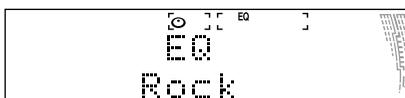


## ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに  
EQ → POS → BAL →  
Front → Rear → Sub  
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 EQボタンを繰り返し押し、EQモードを選ぶ。



押すごとに



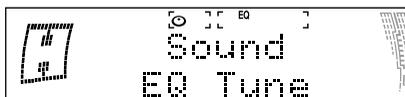
と切り換わります。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには  
手順2で「off」を選びます。

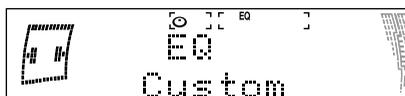
## 好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して「EQ Tune」を表示させる。

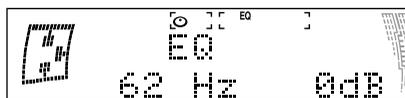


- 4 ジョグローラーを押す。

- 5 SEEK/AMSボタンの+または-を押して、「Custom」を選ぶ。



- 6 ジョグローラーを押す。



- 7 SEEK/AMSボタンの+または-を押して周波数を選ぶ。

押すごとに

62 Hz ↔ 157 Hz ↔ 396 Hz ↔ 1.0 kHz ↔  
2.5 kHz ↔ 6.3 kHz ↔ 16 kHz

と切り換わります。

- 8 ジョグローラーを回して、レベルを調整する。

- 9 ジョグローラーを押す。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには設定の手順7でジョグローラーを2秒以上押します。

サウンドの設定

## ご注意

EQ offでは、イコライザーカーブの調節はできません。

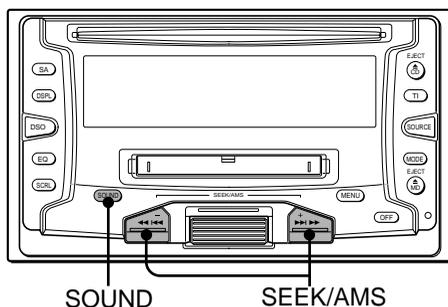
## ちょっと一言

レベルの調整可能範囲は±12dBです。

# 音のバランスや音質を設定する

(バランス)

(ソースサウンドメモリー)



ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに  
EQ → POS → BAL →  
Front → Rear → Sub  
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## 出力バランスを調節する

左右のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押し、「BAL」にする。



- 2 SEEK/AMSボタンの+または-を押して出力バランスを調節する。

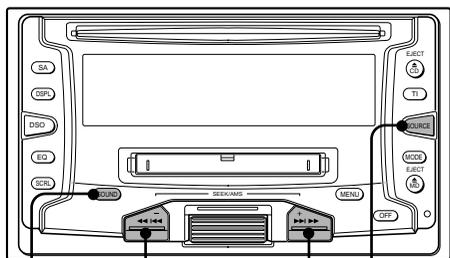
約3秒後に、通常の画面に戻ります。

## ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース(CD、MD、FM、AM)ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

# リスニングポジションを設定する (POS)

聞き手の位置 (リスニングポジション) を選べると、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、自然な音像定位を得ることができます。本機には5種類のリスニングポジションが用意されており左右および前後方向に微調整することができます。



SOUND SEEK/AMS

SOURCE



All



Front



Front-R



Front-L



Rear

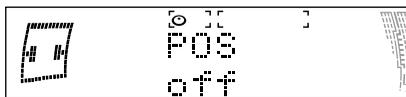
ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに  
EQ → POS → BAL →  
Front → Rear → Sub  
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻りません。

## 設定を選ぶ

設定の種類	設定内容
off	ポジション設定解除
All	全席 (運転席 / 助手席 / 後席)
Front	前席 (運転席 / 助手席)
Front-R	前方右 (運転席)
Front-L	前方左 (助手席)
Rear	後席

- 1 ソース (CD、MD、ラジオなど) を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押し、「POS」を表示させる。



## リスニングポジションを設定する(つづき)

**3** SEEK/AMSボタンの+または-を押してリスニングポジションを選ぶ。

押すごとに

→ Off ↔ All ↔ Front ↔ Front-R ↔ Front-L ↔ Rear →

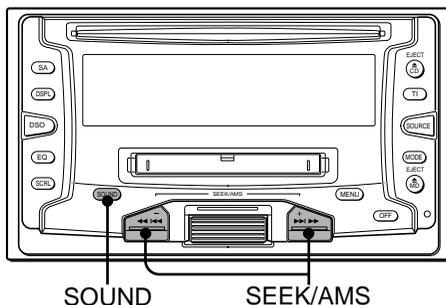
と切り換わります。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

リスニングポジション設定を解除するには  
設定の手順3で「off」を選びます。

# スピーカーの出力を設定する

フロントまたはリア音声出力端子に接続したスピーカーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルおよび周波数帯域を調節することができます。

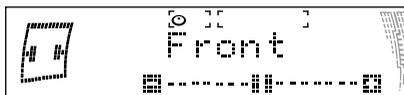


ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに  
EQ → POS → BAL →  
Front → Rear → Sub  
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻りません。

## 出力レベルを調整するには

- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「Front」または「Rear」にする。



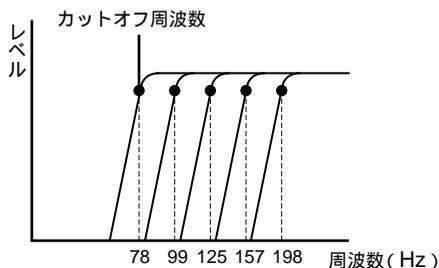
- 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押して出力レベルを調整する。

約3秒後に、通常の画面に戻ります。

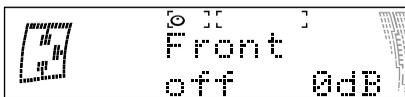
## スピーカーの出力を設定する(つづき)

### フロント/リアスピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

高音質スピーカーの性能を生かしきるためフロントとリアを独立してカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、フロント/リアスピーカーの設置場所を意識させない、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して、「Front HPF」または「Rear HPF」を選び、ジョグローラーを押す。



- 4 SEEK/AMSボタンの+を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 ジョグローラーを回して出力レベルを調整する。
- 6 最後に、ジョグローラーを押す。  
通常の画面に戻ります。

#### ちょっと一言

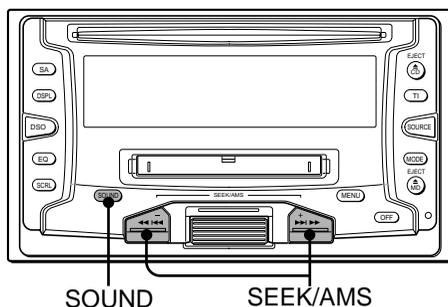
- SEEK/AMSボタンの+または-を押すごとに  
off(初期値) ↔ 78Hz ↔  
99Hz ↔ 125Hz ↔  
157Hz ↔ 198Hz  
と変わります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±12dBです。( - 12dBの下はATTと表示)

# サブウーファー の出力を設定す る

サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

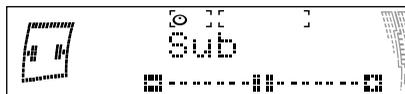
ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに  
EQ → POS → BAL →  
Front → Rear → Sub  
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。



## 出力レベルを調整するには

- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「Sub」にする。



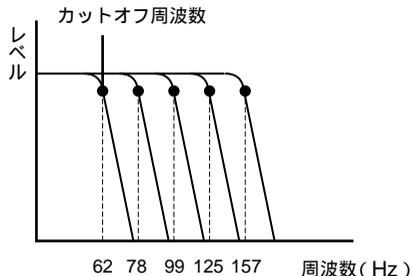
- 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押して出力レベルを調整する。

約3秒後に、通常の画面に戻ります。

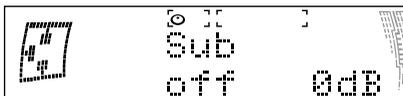
## サブウーファーの出力を設定する(つづき)

### カットオフ周波数を選ぶ

音の指向性(方向)は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



- 1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ジョグローラーを回して、「Sub LPF」を選び、ジョグローラーを押す。



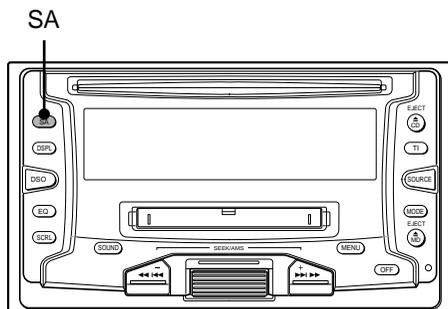
- 4 SEEK/AMSボタンの+または-を押してカットオフ周波数を選ぶ。
- 5 ジョグローラーを回して出力レベルを調整する。
- 6 最後に、ジョグローラーを押す。  
通常の画面に戻ります。

#### ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押すごとに  
62Hz ↔ 78Hz ↔  
99Hz ↔ 125Hz ↔  
157Hz ↔ off  
と変わります。
- 出力レベルの調整可能範囲は±12dBです。( -12dBの下はATTと表示)

# スペクトラムアナライザーを選ぶ(SA)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。表示パターンは8種類の中から選ぶことができます。

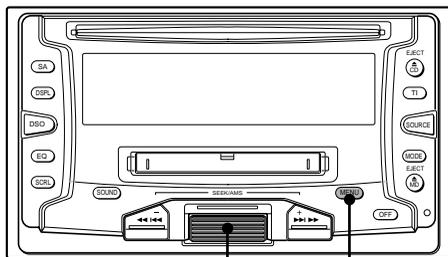


## メイン表示パターンを選ぶ

再生中にSAボタンを繰り返し押します。

設定の種類	モード名称
SA 1	Mist
SA 2	Side Wave
SA 3	Volcano
SA 4	Falls
SA 5	Slide
SA 6	Xplod
SA 7	Wave
SA off	設定解除
SA Auto	SA 1～7のパターンを順に表示します。

# 音や表示などの設定を変える



ジョグローラー MENU

## ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## Set upメニュー

設定の種類	設定内容
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon/offする。
「RM」	ロータリーコマンドのつまみの操作方向を切り換える。 「norm」 → 初期設定の回転方向。 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
「Key ill」	ボタン照明をon/Autoすることができます。 「on」 → 車の照明に関係なく点灯する。 「Auto」 → 車の照明をONにすると点灯する。 (車の照明電源に接続されている場合のみ)

## Displayメニュー

設定の種類	設定内容
「D.Info」	常に時計を表示させる。(Motion offの場合のみ)
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。 (車の照明電源に接続されている場合のみ) 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Display」	画面表示をon/offすることができます。 「on」 → 常時、表示する 「off」 → ボタン操作後、消灯する。 もう一度いずれかのボタン操作をすると、約5秒間表示されます。
「Motion」	画面表示パターンを選べます。 「1」 → イルカ 「2」 → ヘリコプター

### ちょっと一言

別売りのカードリモコンで操作をしているときは、もう1度MENUボタンを押して通常再生画面に戻します。

本体で操作しているときは、操作なしで5秒後に戻ります。

## 設定を変える

---

- 1 MENUボタンを押す。
  - 2 ジョグローラーを回して設定したい項目を選ぶ。
  - 3 SEEK/AMSボタンの + または - を押して調節したい設定にする。  
(例 : 「on」または「off」)
  - 4 ジョグローラーを押す。
-

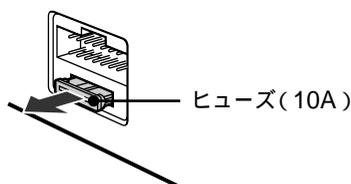
# 使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CD/MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですとレーザーによる読み取りができず、CD/MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CD/MDを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

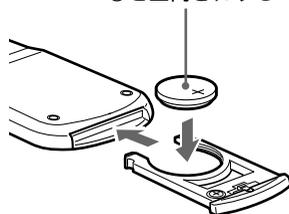
## カードリモコン

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



⊕を上向きにする



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

## 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

### 警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

### 注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 音量を上げてください。</li><li>• ATT機能を解除してください。</li><li>• スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li></ul>
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>• リセットボタンを押した。</li><li>• 動作用電源コードまたはバッテリーを外した。</li><li>• 電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定(52ページ)を「on」にしてください。
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「Display」の設定がoffになっている。 → Displayの設定をonにしてください(52ページ)。</li><li>• OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押して、時計表示を出してください。</li></ul>
再生 / 受信の停止中に時計表示にならない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• モーションディスプレイが表示されている(「Motion」の設定が1または2になっている) → Motionの設定をoffにしてください(52ページ)。</li></ul>
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• すでに別のディスクが入っている。</li><li>• ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル面を上に入れてください。</li></ul>
CD/M/D 音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。</li><li>• ディスクが傷ついている。</li><li>• 本機の取り付け角度が20°を越えている。</li><li>• 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。</li><li>• MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</li></ul>
ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。

	症状	原因・処置
CD/MD	「-----」表示が消えない。	CD再生中(カスタムファイル機能対応のCDチェンジャーを接続時)に、Name Edit(名前入力)モードに入った。 →LISTボタンを2秒以上押してください。
	MDが再生できない。	何も録音されていないMDが入っている。 →録音済みのMDに入れ変えて下さい。
ラジオ／テレビ	受信できない、雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ)。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。</li> <li>・カーアンテナとの接続を確認してください。</li> <li>・オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。</li> <li>・周波数を確認してください。</li> <li>・IF機能が「Wide」になっている。 →「Auto」にしてください(32ページ)。</li> </ul>
	SEEK/AMSボタンの+または-を押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Local Seekになっていると電波の強い周波数のみ受信します。 →ローカル受信を解除してください(31ページ)。</li> <li>・電波が弱くて自動選局できない。 →SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて周波数を合わせてください。</li> </ul>
	「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周波数を確認してください。</li> <li>・電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください(32ページ)。</li> </ul>
サウンド設定	テレビのリセットボタンを押したとき、モニターに何も映らなくなったり本体のボタンが効かなくなる。	テレビのリセットボタンを押した後は必ず本機のリセットボタンを押してください。
	音がでない、または音が小さい。	DSOやリスニングポジションの調節で後部座席のスピーカーの音量が自動的に小さくなった。 →バランスを調節します。スピーカーバランスはサウンドチューニングモードで個別に設定できます(44ページ)。

## 故障かな?(つづき)

### CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
Error	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG Discs	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO Mag	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
High Temp	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。

# 保証書と アフターサービス

## 保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

### 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

### 部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

# 主な仕様

## CDプレーヤー部

SN比	92dB
周波数特性	5~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

## MDプレーヤー部

SN比	92dB
周波数特性	5~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

## チューナー部

### FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	10dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	65dB(ステレオ) 68dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.7%(ステレオ) 0.4%(モノラル)
チャンネルセパレーション	35dB以上(1kHz/WIDE時)

### AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30 $\mu$ V

## グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、157Hz、396Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	$\pm$ 12dB

## アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	50W $\times$ 4(4 負荷1kHz)

## 主な仕様(つづき)

### 電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	サブウーファー音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 ATT入力端子(ナビ用) イルミコントロール入力端子
本体寸法	約178×100×186mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×100×165mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約2.1kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

### 別売品

CDチェンジャー(10枚) CDX-838、CDX-737など
MDチェンジャー(6枚) MDX-65など
パワーアンプ XM-405EQX、 XM-1002HX/Rなど
ソースセレクター XA-C30
カードリモコン RM-X91
ロータリーコマンダー RM-X4S
バスケーブル(RCAピンコード 付属) RC-61(1m)、 RC-62(2m)
バス延長コード RC-U305(0.5m)
RCAピンコード RC-63(1m)、 RC-64(2m)、 RC-65(5m)
電源コード RC-39

### ご注意

本機には別売りのデジタルリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## 五十音順

### ア行

- イコライザー ..... 42~43
- エラー表示 ..... 58
- 音量 ..... 10~11

### カ行

- カスタムファイル ..... 25~26

### サ行

- サイマルプレイ ..... 40
- サブウーファー出力 ..... 49~50
- スクロール ..... 22、28
- ステーションメモ ..... 34~35
- シャッフル ..... 24
- ステレオ放送 ..... 32
- スピーカーバランス ..... 44
- スペクトラムアナライザー ..... 51
- ソースサウンドメモリー ..... 44

### タ行

- ディスクメモ ..... 25~26
- テレビ ..... 37~40
  - 名前をつける ..... 38
  - 登録 ..... 38
- 登録
  - 自動登録 ..... 29~30
  - ラジオ局 ..... 29~30、33
  - テレビ局 ..... 38
- 道路交通情報(TI) ..... 11、31
- 時計 ..... 19

### ナ行

#### 名前

- 消去する ..... 26、35
- つける ..... 25、34、38
- 表示する ..... 22、27、36

## ハ、マ、ヤ行

- バランス ..... 44
- ビデオ ..... 39
- ヒューズ ..... 54
- 表示窓
  - メニュー ..... 18
  - CD/MD ..... 20
  - ラジオ ..... 30
- ベストチューニングメモリー  
(BTM) ..... 29
- ボタンの音 ..... 52~53

## ラ、ワ行

- ラジオ ..... 11、29~36
  - 自動選局 ..... 31
  - 登録 ..... 29~30、33
  - 名前で探す ..... 36
  - 名前をつける ..... 34~35
  - 名前を表示する ..... 36
- リスニングポジション  
..... 45~46
- リスト ..... 27、36
- リセット ..... 9
- リピート ..... 23
- リモコン
  - ロータリーコマンダー  
..... 16~17、52~53
  - カードリモコン  
..... 14~15、54

## アルファベット順

- Auto Memory ..... 37
- A.Scr1 ..... 28
- BAL ..... 44
- Beep ..... 52~53
- B.T.M ..... 29
- CD/MD ..... 10、20~28
  - 名前で探す ..... 27
  - 名前を消去する ..... 26
  - 名前をつける ..... 25
- CD TEXT ..... 28
- Clock ..... 19
- Dimmer ..... 52~53
- Display ..... 52~53
- DSO ..... 41
- EQ ..... 42~43
- Front HPF ..... 48
- Local ..... 31
- Mono ..... 32
- Name Delete ..... 26
- POS ..... 45~46
- Rear HPF ..... 48
- Repeat ..... 23
- RM ..... 52~53
- SA ..... 51
- Shuffle ..... 24
- Sub LPF ..... 50





保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは

テクニカルインフォメーションセンターへ  
(モバイルエレクトロニクス専用)

0120-64-0131(フリーダイヤル)

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

● Fax……………0466-31-2595

受付時間:月~金 9:00~20:00、土・日・祝日 9:00~17:00

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。



\* 1 - 3 - 0 4 8 - 6 3 8 - 0 1 \* (1)